



バラセメントトレーラー車両



ハイテクローリー車両



ケミカル車両



ウイング車両



東部ネットワーク株式会社

証券コード：9036

私たちは総合物流企業として物を安全・確実に運ぶことを使命とし、
経済・社会の発展に貢献します。

Q. 当事業年度の業績についてお聞かせください。

東部神戸物流センター（兵庫県）の稼働により、西日本地区における輸送情報の一元管理による輸送効率の向上を実現し、同時に当社が推進する3PL事業の展開に弾みをつけることができました。

当貨物自動車運送業界は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減や、全体的な消費マインドの冷え込みにより輸送数量は減少し、総じて低調な荷動きで推移いたしました。さらに期末には、新型コロナウイルスの国内での感染拡大を受け、政府による外出自粛要請などの影響により、消費が急激に減退するなど、想定を上回る厳しい事業環境が続いております。



代表取締役社長

若山良孝

このような環境のなか、当社は当期における重点施策として、西日本地区における物流サービス網の拡充を進めるとともに、収益性の改善に向け、これまでの運賃収入を柱とした収益構造からの転換を図るため、3PL（サード・パーティー・ロジスティクス）事業による提案物流の推進に積極的に取り組んでまいりました。

以上の結果、当事業年度の売上高は126億3百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益6億5千2百万円（前年同期比7.7%減）、経常利益6億8千3百万円（前年同期比9.8%減）、当期純利益は、不採算営業所の閉鎖による減損損失や投資有価証券の評価損等を計上いたしましたので、4億4千万円（前年同期比15.7%減）となりました。

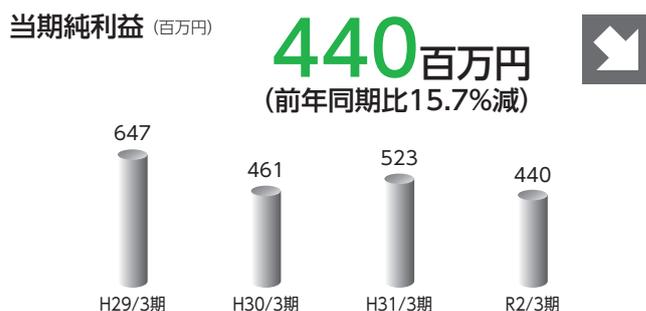
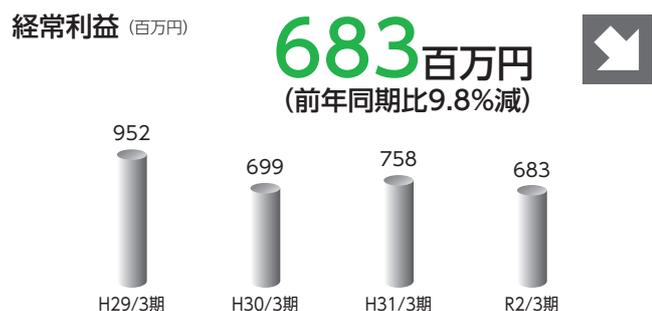
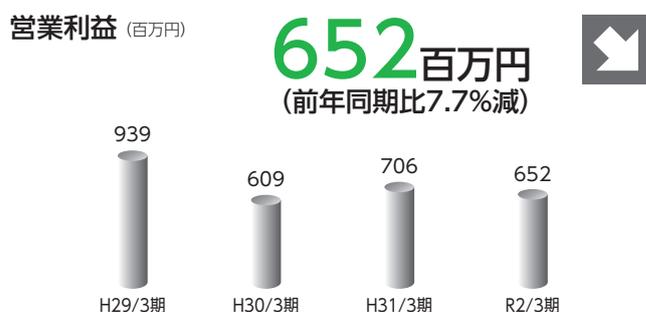
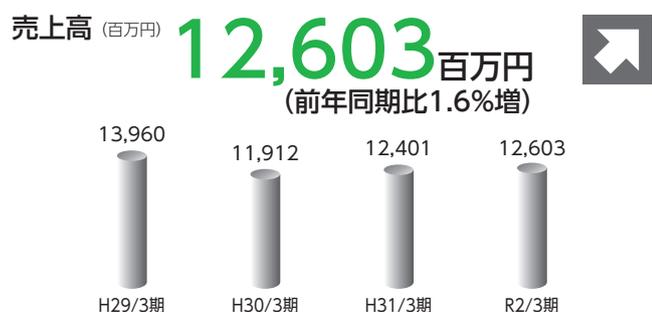
株主の皆さまにおかれましては、何卒今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

Q. 業績予想、今後の取り組みについてお聞かせください。

今後も3PL事業の強化・拡大を行い、お客様のニーズにこたえる物流ソリューションサービスを推進いたします。

本年9月には東部滋賀物流センター（滋賀県）が竣工予定となっており、収益構造の早期転換を実現するため、今後も3PL事業の強化・拡大及び収益性の向上に注力し、経営体質の強化に努めてまいります。

業績ハイライト



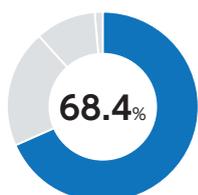
業績についての詳細はこちらもご覧ください

<https://www.tohbu.co.jp/ir/highlight/>



事業の概況

貨物自動車運送事業



86億2千2百万円
(前年同期比5.1%増)

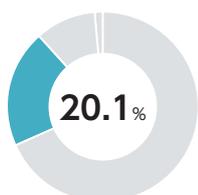
西日本地区における物流網の拡充により増収

飲料輸送は、需要低下により荷動きに力強さが見られず、輸送量が伸び悩むなか、西日本地区における物流網の拡充効果で輸送実績の純増分が、東日本地区の落ち込み分を補い増収となりました。

セメント輸送は、国内におけるセメント販売が減少した影響に加え、大口取引先の終了による減収分を補えず減収となりました。この結果、当事業の売上高は、関連業務の荷役・保管作業収入を含め、86億2千2百万円（前年同期比5.1%増）となりました。



商品販売事業



25億3千5百万円
(前年同期比4.4%減)

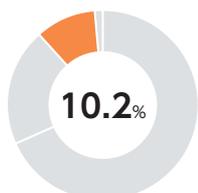
石油販売は大幅減収、セメント販売は新たな取引先獲得により増収

セメント販売は、新たに取引先を獲得できましたので増収となりましたが、一方、石油販売においては、収益性に重点を置いた取引へ集約させたことから減収となりました。

この結果、当事業の売上高は、25億3千5百万円（前年同期比4.4%減）となりました。



不動産賃貸事業



12億8千5百万円
(前年同期比7.0%減)

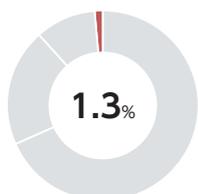
取引先の契約終了により減収

自社施設のオフィスビルで、一部のテナントとの契約終了に加え、借上施設の提供においても取引先との契約終了があり、減収となりました。

この結果、当事業の売上高は、12億8千5百万円（前年同期比7.0%減）となりました。



その他事業



1億6千万円
(前年同期比3.0%減)

自動車整備事業は増収、派遣業は派遣契約先の減少により減収

自動車整備事業は、一般修理の受注増で増収となりましたが、派遣業におきまして、派遣契約先の減少による影響から減収となりました。

この結果、当事業の売上高は、1億6千万円（前年同期比3.0%減）となりました。



株主アンケート結果報告

第106期株主通信においてお願いいたしました「株主アンケート」にて株主の皆様からのご回答を頂戴いたしました。

株主の皆様からのご意見

- 今後の会社規模の拡大、上位市場への指定替えを期待します。
- 経営環境は厳しいが、頑張ってもらいたい。
- 日本の人口が減少していくなか、将来に向けて業績を伸ばすための方策を考えてほしい。
例えば、アジア各国で物流を開始するための業務提携を結ぶなど。

皆様からご意見を頂戴しましたことに心からお礼申し上げます。

ご回答内容を真摯に受け止め、今後の株主通信発行、またIR活動に活かしてまいります。

会社概要 令和2年3月31日現在

■ 会社の概要

商号	東部ネットワーク株式会社 (TOHBU NETWORK CO.,LTD.)
設立年月日	昭和18年12月30日
資本金	5億5,303万1,250円
主要な事業内容	貨物自動車運送事業 商品販売事業 不動産賃貸事業 その他事業
従業員の状況	合計396名 (男性367名 女性29名)

株式の状況 令和2年3月31日現在

■ 株式の状況

(1) 発行可能株式総数	22,996,000株
(2) 発行済株式総数	5,749,000株
(3) 1単元の株式数	100株
(4) 株主数	814名
(5) 大株主	

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
中村 巨宏	1,415	25.95
アサガミ株式会社	321	5.88
BBH	175	3.21
株式会社みずほ銀行	131	2.40
中村 千鶴子	120	2.20
三井住友信託銀行株式会社	110	2.01
中村 匡宏	101	1.85
丸全昭和運輸株式会社	100	1.83
芦原 一義	98	1.79
山本 穰	88	1.61

(注) 持株比率は自己株式297千株を控除して計算しております。

■ 株主メモ

- 事業年度…………… 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会…………… 毎年6月開催
- 基準日…………… 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日 (中間配当をする場合)
その他必要ある場合はあらかじめ公告して基準日を定めます。
- 株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関…………… 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 株主名簿管理人
事務取扱場所…………… 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)
〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎0120-782-031
(インターネットホームページURL)
<https://www.smtb.jp/personal/agency/>
- 公告の方法…………… 電子公告により行います。
<https://www.tohbu.co.jp/>
やむを得ない場合は日本経済新聞に掲載いたします。
- 上場証券取引所…………… 東京証券取引所JASDAQ市場 (スタンダード)
- 証券コード…………… 9036

■ HP案内

当社では、株主・投資家の皆様および一般の方々に当社の事業活動についてよりご理解いただくため、ホームページ内でさまざまな情報を掲載しております。当社ホームページアドレスは以下のとおりです。

PCサイトは [こちら](https://www.tohbu.co.jp/)

IRサイトは [こちら](https://www.tohbu.co.jp/ir/highlight/)



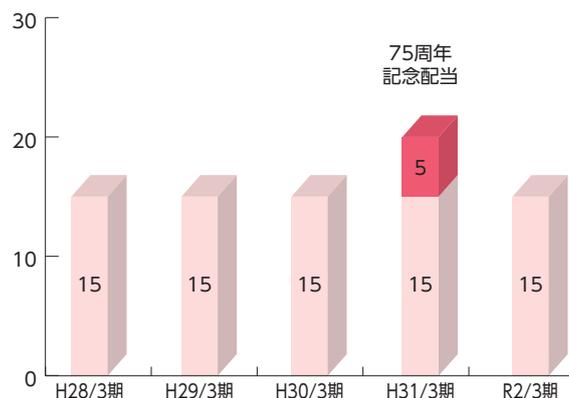
見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

■ 役員一覧 (令和2年6月25日現在)

取締役社長 (代表取締役)	若山 良孝	取締役 兼執行役員	安藤 功
専務取締役 兼専務執行役員 (代表取締役)	三澤 秀幸	取締役	野口 誠
取締役 兼執行役員	伊藤 進	常勤監査役	高山 裕之
取締役 兼執行役員	古川 智洋	監査役	稲村久仁雄
		監査役	尾崎 真二

(注) 1. 取締役のうち野口誠氏は社外取締役であります。
2. 監査役のうち稲村久仁雄および尾崎真二の両氏は、社外監査役であります。

■ 配当金の推移 (円)



株主の皆さまの声を聞かせてください

当社では、株主の皆さまの声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 9036

いいかぶ

検索

空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を差しさせていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media (エー・ツー・メディア) の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2media についての詳細 <https://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。(1809)

●アンケートのお問い合わせ

「e-株主リサーチ事務局」 MAIL: info@e-kabunushi.com

